

マニュライフ・
フレキシブル戦略ファンド
Cコース (為替ヘッジあり・年2回)
/Dコース (為替ヘッジなし・年2回)

追加型投信／内外／債券

償還交付運用報告書

第14期 (償還日 2020年9月15日)

作成対象期間 (2020年3月17日～2020年9月15日)

－受益者のみなさまへ－

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「マニュライフ・フレキシブル戦略ファンド Cコース (為替ヘッジあり・年2回) / Dコース (為替ヘッジなし・年2回)」は、2020年9月15日をもちまして繰上償還となりました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界の債券に分散投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、ご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

C コ ー ス	償還日 (2020年9月15日)		第14期 (2020年3月17日～2020年9月15日)	
	償還価額	9,962円49銭	騰落率	6.4%
	純資産総額	29百万円	分配金合計	－円
D コ ー ス	償還日 (2020年9月15日)		第14期 (2020年3月17日～2020年9月15日)	
	償還価額	11,726円42銭	騰落率	5.9%
	純資産総額	14百万円	分配金合計	－円

(注) 騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

マニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館

お問い合わせ先

サポートダイヤル：03-6267-1901

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページアドレス：www.mamj.co.jp/

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法により交付する旨を定めております。

<閲覧方法>

当社ホームページアドレスにアクセス⇒各種情報を選択⇒償還ファンド一覧を選択

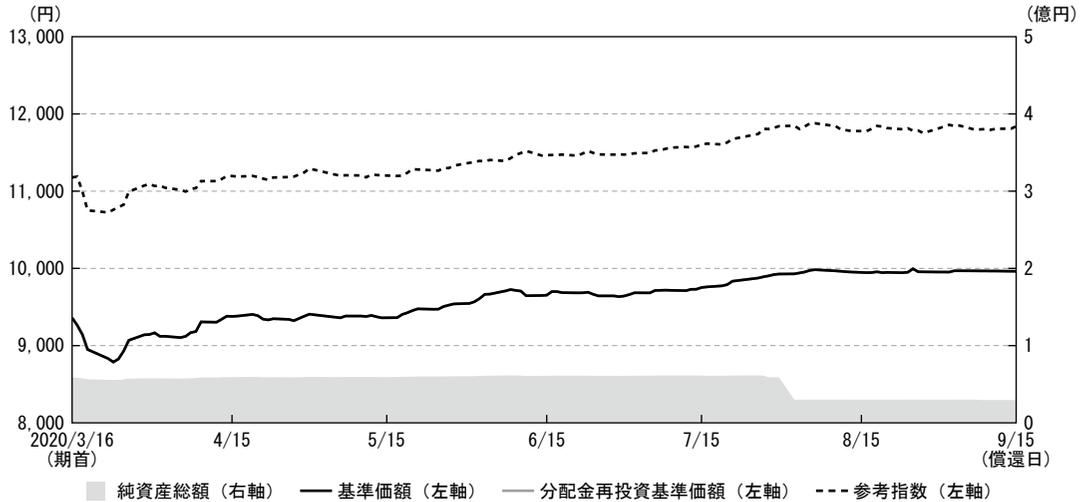
※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

○運用報告書(全体版)については、弊社ホームページに掲載しています。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社にお問い合わせ下さい。販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。

運用経過

■当期中の基準価額等の推移（2020年3月17日から2020年9月15日まで）

Cコース



期首： 9,360円

償還日： 9,962円49銭（既払分配金－円）

騰落率： 6.4%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・マルチバース・トータルリターン・インデックス（米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

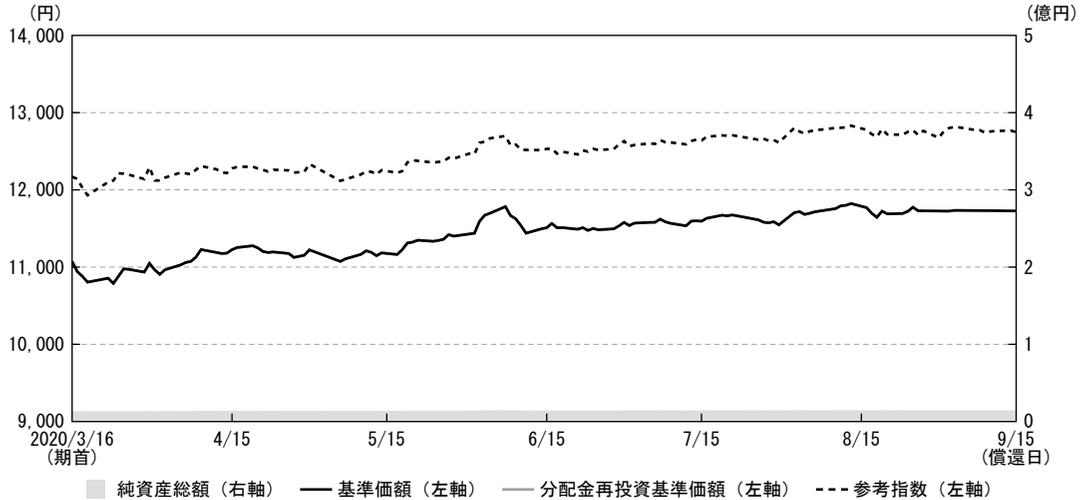
- ・安定的な利息収入や企業の信用リスクの低下などを背景に、投資先ファンドにおける米ハイイールド債や投資適格債券の保有がプラスに寄与しました。
- ・為替ヘッジ取引にかかるコスト（ヘッジコスト）がマイナス寄与しました。

◆当期間の組入ファンドの騰落率

組入ファンド	騰落率
マニュアル・インベストメンツ・トラストストラテジック・インカム・オポチュニティーズ・ファンド クラスA	8.2%
マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド	△0.4%

■当期中の基準価額等の推移（2020年3月17日から2020年9月15日まで）

Dコース



期首： 11,074円

償還日： 11,726円42銭（既払分配金－円）

騰落率： 5.9%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・マルチバース・トータルリターン・インデックス（円換算ベース／三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

- ・安定的な利息収入や企業の信用リスクの低下などを背景に、投資先ファンドにおける米ハイイールド債や投資適格債券の保有がプラスに寄与しました。
- ・円が米ドルに対して上昇したことがマイナス寄与しました。

◆当期間の組入ファンドの騰落率

組入ファンド	騰落率
マニュアル・インベストメンツ・トラストストラテジック・インカム・オポチュニティーズ・ファンド クラスA	8.2%
マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド	△0.4%

【Cコース】

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2020年3月17日～2020年9月15日)		
	金額	比率	
平均基準価額	9,596円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	65円 (26) (37) (1)	0.676% (0.276) (0.386) (0.014)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用 （保管費用） （その他）	3 (2) (0)	0.029 (0.025) (0.005)	(e) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	68	0.705	

* 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

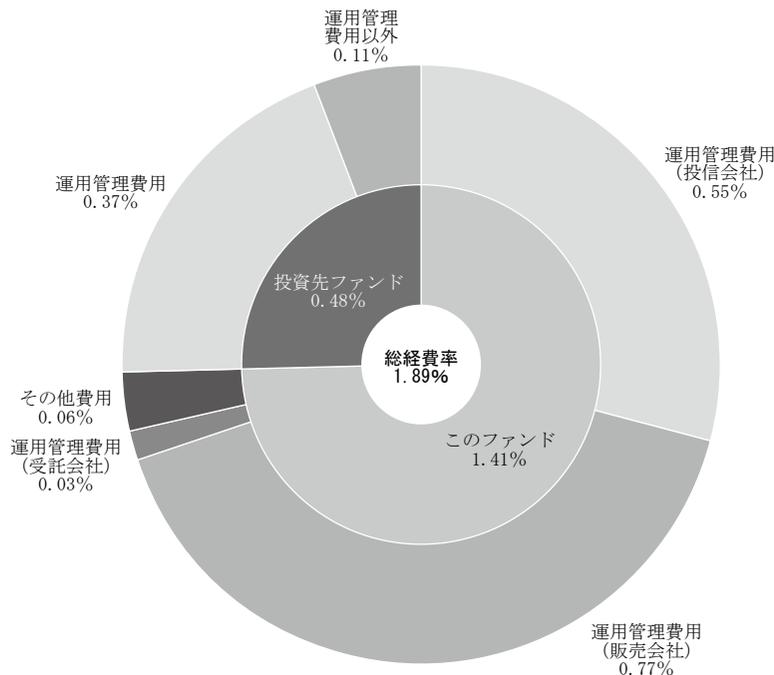
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率（①+②+③）	1.89%
①このファンドの費用の比率	1.41%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

- *①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- *各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- *各比率は、年率換算した値です。
- *投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- *①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- *①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- *上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【Dコース】

■ 1万円当たりの費用明細

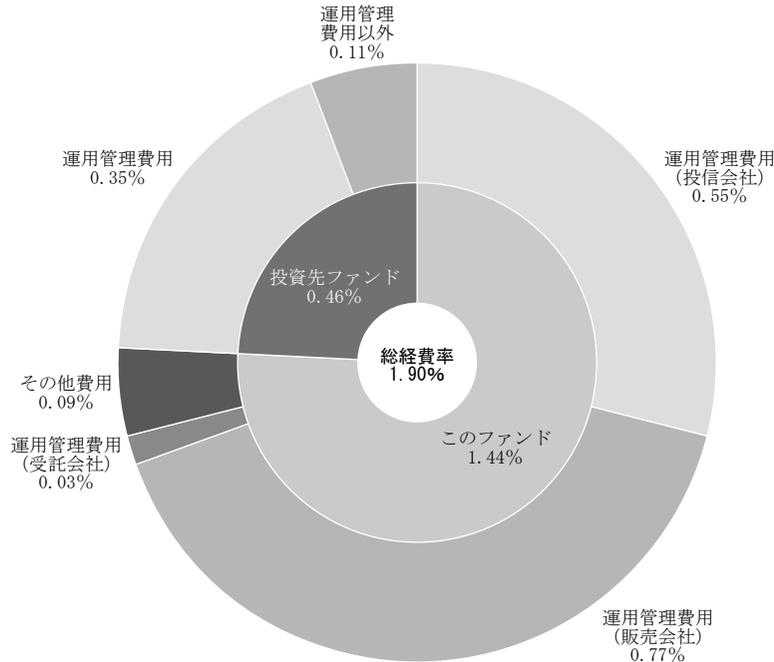
項目	当期		項目の概要
	(2020年3月17日～2020年9月15日)		
	金額	比率	
平均基準価額	11,401円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	77円 (31) (44) (2)	0.676% (0.276) (0.386) (0.014)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用 （保管費用） （その他）	5 (4) (1)	0.045 (0.038) (0.008)	(e) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	82	0.721	

- * 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 * 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。
 * 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
 * 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
 * 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。

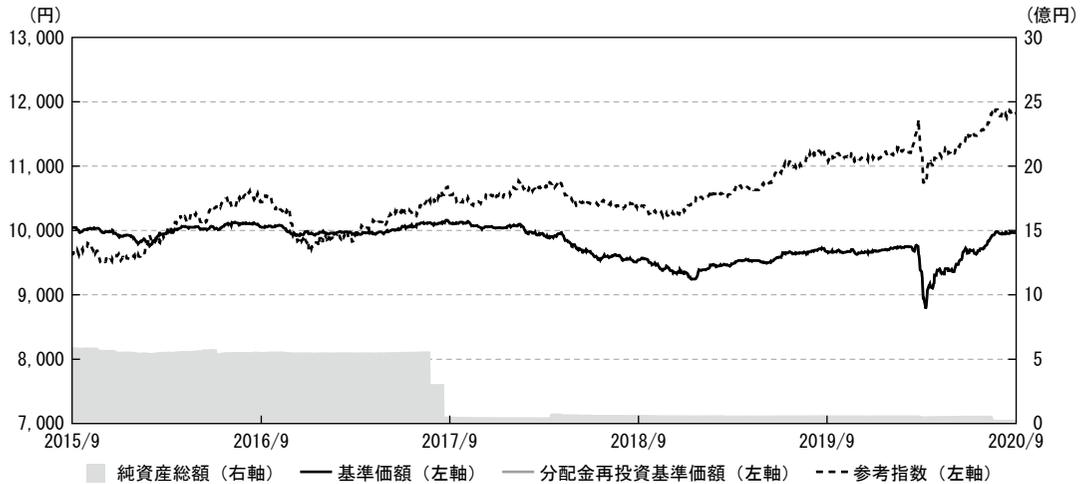


総経費率 (①+②+③)	1.90%
①このファンドの費用の比率	1.44%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

- *①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- *各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- *各比率は、年率換算した値です。
- *投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- *①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- *①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- *上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移

Cコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ・パークレイズ・マルチパース・トータルリターン・インデックス（米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日	2015年9月15日 (期初)	2016年9月15日	2017年9月15日	2018年9月18日	2019年9月17日	2020年9月15日 (償還日)
基準価額 (円)	10,047	10,051	10,112	9,547	9,653	9,962.49
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.0	0.6	△5.6	1.1	3.2
参考指数騰落率 (%)	—	7.9	1.0	△1.5	6.6	6.9
純資産総額 (億円)	5.9	5.6	0.5	0.7	0.6	0.3

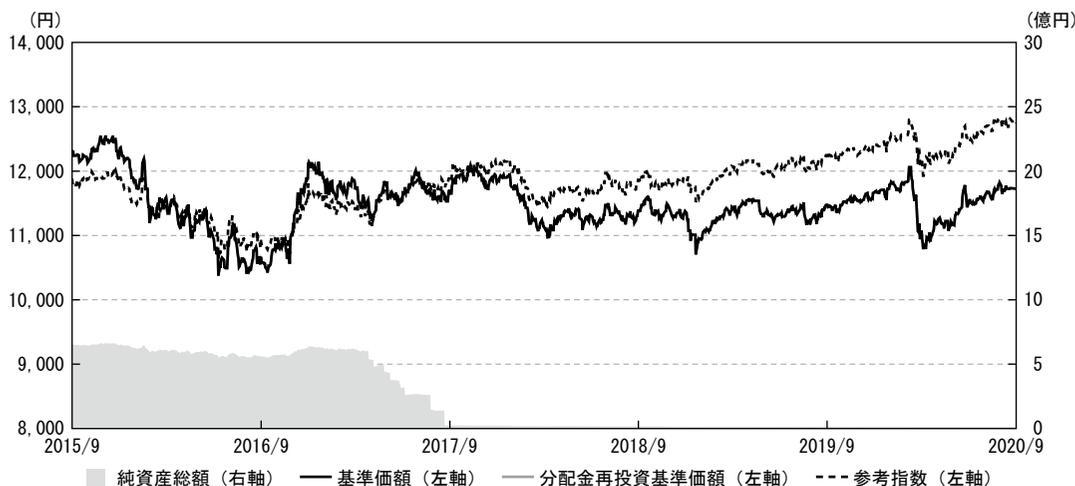
※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定していません。したがって、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

ブルームバーグ・パークレイズ・マルチパース・トータルリターン・インデックスとは、世界の債券の値動きを示す代表的な指数です。

■最近5年間の基準価額等の推移

Dコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・マルチバース・トータルリターン・インデックス（円換算ベース／三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日	2015年9月15日 (期初)	2016年9月15日	2017年9月15日	2018年9月18日	2019年9月17日	2020年9月15日 (償還日)
基準価額 (円)	12,327	10,631	11,654	11,367	11,446	11,726.42
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△13.8	9.6	△2.5	0.7	2.4
参考指数騰落率 (%)	—	△8.3	8.6	△0.1	3.1	4.5
純資産総額 (億円)	6.5	5.6	0.2	0.2	0.2	0.1

※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。したがって、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

ブルームバーグ・バークレイズ・マルチバース・トータルリターン・インデックスとは、世界の債券の値動きを示す代表的な指数です。

■投資環境

[債券市況]

C、Dコース

米10年国債利回りは、期初に0.9%台で始まった後、2020年3月中旬に一時1.1%台に上昇しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響が懸念され、4月下旬には0.5%台に低下しました。その後6月中旬にかけて緩やかに上昇し、0.7%台となりましたが、6月下旬以降は新型コロナウイルス感染拡大の第2波への懸念、FRB（米連邦準備制度理事会）による大規模金融緩和の長期継続姿勢、米中対立の激化懸念などを受けて低下し、8月上旬には0.5%台となりました。8月中旬以降は、FRBが雇用確保を重視するために一時的に2%超のインフレ率を容認する姿勢を示し、インフレ期待が高まったことなどを背景に上昇し、0.6%台で期を終えました。

米投資適格社債や米ハイイールド債は、安定的な利息収入のほか、FRBによる社債買い入れなどを好感し信用リスクが低下したことから、トータルリターン・ベースで上昇しました。

米国以外の先進国では、新型コロナウイルスの感染拡大懸念や、各国中央銀行の金融緩和政策により国債利回りが低下しましたが、EU（欧州連合）の経済復興基金創設やECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和発表を受けて景気回復期待の高まったドイツでは、国債利回りが小幅上昇しました。

新興国債券は、各国で利下げが相次いだことやインドネシアなど一部の国の中銀が国債を買い支えたことなどから、期を通じてトータルリターン・ベースで上昇しました。

[為替市況]

Dコース

外国為替市場では、円は米ドルに対して上昇（円高）しました。期初1米ドル106円台で始まり、新型コロナウイルスの感染拡大懸念を背景に企業・金融機関による米ドル資金を確保する動きから一時111円台まで米ドルが上昇しましたが、その後、新型コロナウイルスの感染拡大懸念、ECBによる大規模金融緩和の長期継続姿勢、米中対立の深刻化懸念、過去最大の落ち込みとなった米国の第2四半期GDP成長率などを受けて7月末には104円台まで円高米ドル安が進行しました。8月以降は、米国の景況感改善、雇用統計など堅調な経済指標、長期金利の上昇などを背景として米ドルが買い戻され、当期末に105円台となりました。

[日本債券市況]

C、Dコース

当作成期間の10年国債利回りは、期初0.017%から期末0.021%となり利回りは上昇（価格は下落）しました。

■当該投資信託のポートフォリオ 当ファンド

償還に向けて、主要投資対象とするケイマン籍外国投資信託「マニユライフ・インベストメンツ・トラストストラテジック・インカム・オポチュニティーズ・ファンド クラスA」（以下「MITーストラテジック・インカム・オポチュニティーズ・ファンド クラスA」といいます。）（米ドル建て）受益証券を売却し、現金化を行いました。

MITーストラテジック・インカム・オポチュニティーズ・ファンド クラスA

当該投資信託を通じて、主として世界の債券に分散投資を行い、トータル・リターン（金利収入および値上がり益）の最大化をめざして運用を行いました。

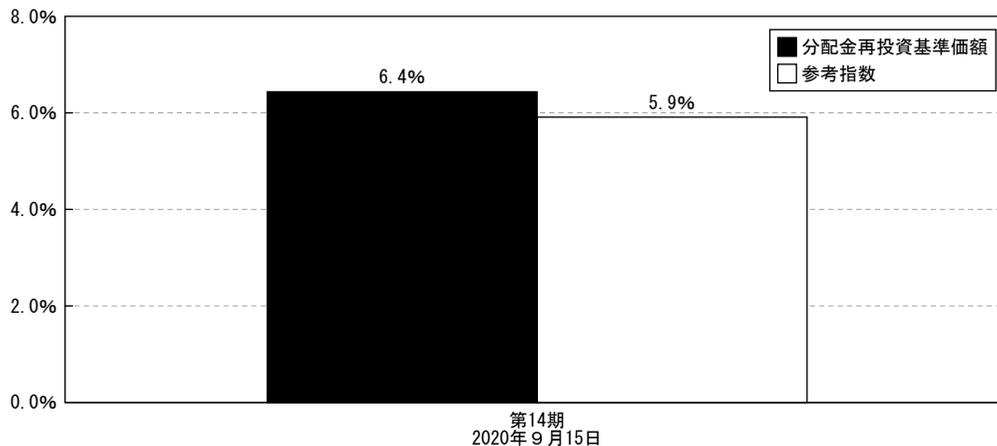
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド

NOMURA-BPI 総合に採用されている公社債に投資することにより、同インデックスの動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

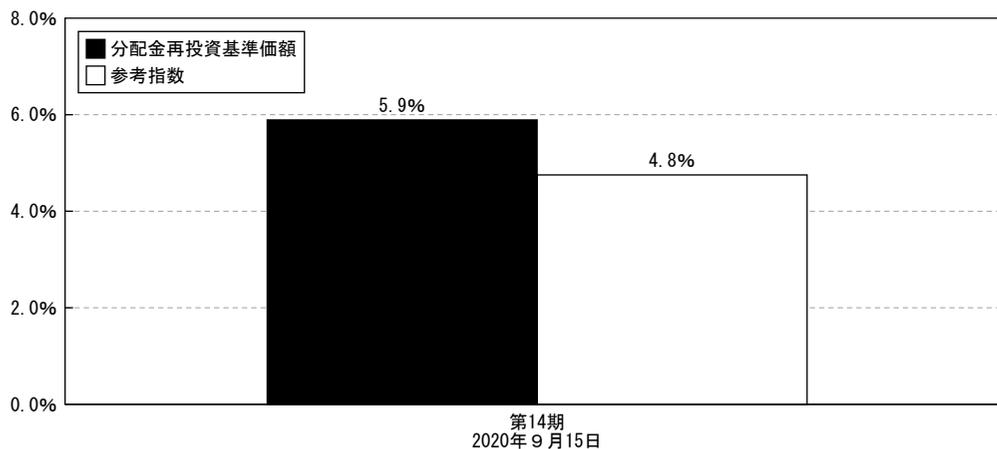
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

Cコース



※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・マルチバース・トータルリターン・インデックス（米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

Dコース



※当ファンドの参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・マルチバース・トータルリターン・インデックス（円換算ベース / 三菱UFJ銀行T TM）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として委託会社が算出したものです。

■収益分配金について

該当事項はありません。

■今後の運用方針

該当事項はありません。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

お知らせ

◆約款変更

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社は、2020年4月1日付で商号をマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社に変更しました。

商号変更に伴い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2020年4月1日)

◆運用体制の変更

該当事項はありません。

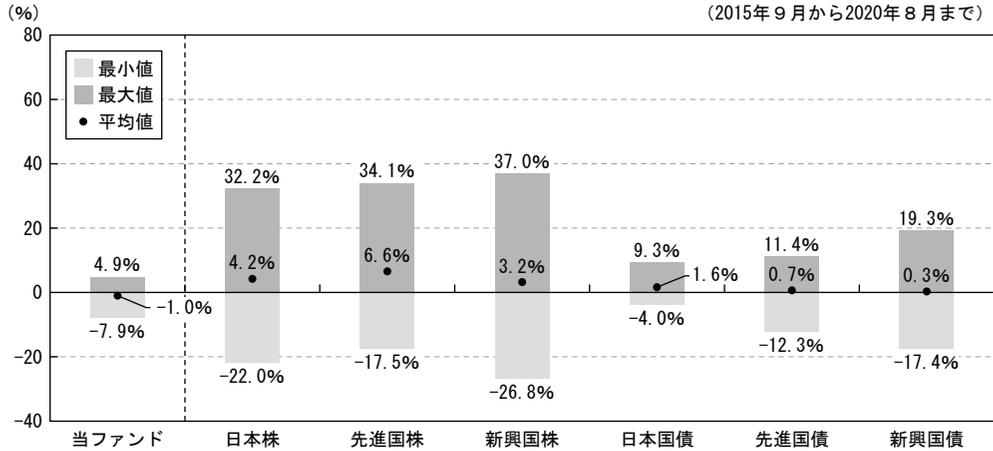
当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券
信 託 期 間	2013年10月31日から2020年9月15日までです。
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界の債券に分散投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。
主 な 投 資 対 象	投資信託証券（外国籍投資信託証券および国内投資信託証券（親投資信託を含みます。）を含みます。）を主要投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託「マニュアル・インベストメンツ・トラストーストラテジック・インカム・オポチュニティーズ・ファンド クラスA」 ・親投資信託「マニュアル・日本債券インデックス・マザーファンド」
運 用 方 法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

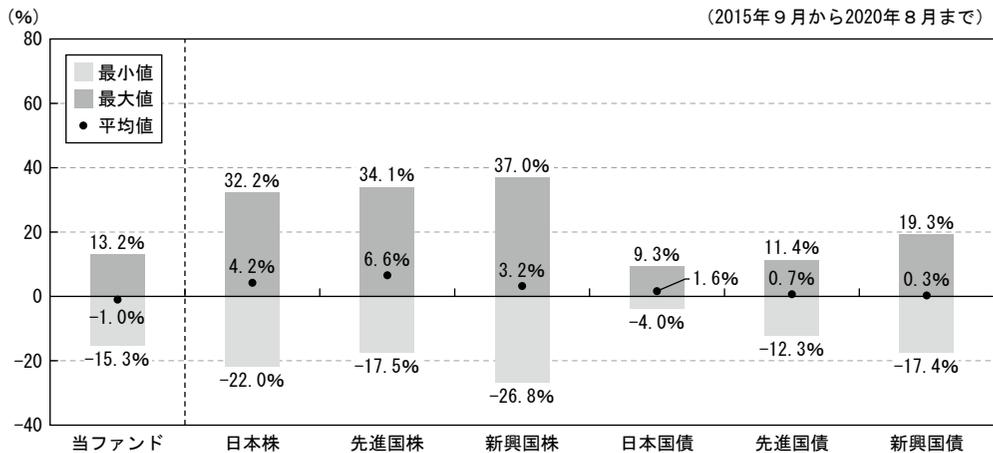
(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

Cコース



Dコース



- ※グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- ※当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ※前記は、2015年9月から2020年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- ※前記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）

（注）海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円換算しております。

※詳細は後掲の「指数に関して」をご参照ください。

当該投資信託のデータ

■当該ファンドの組入資産の内容

Cコース

○組入ファンド

2020年9月15日現在、組入れはございません。

Dコース

○組入ファンド

2020年9月15日現在、組入れはございません。

■純資産等

Cコース

項目	償還時
	2020年9月15日
純資産総額	29,509,607円
受益権総口数	29,620,713口
1万口当たり償還価額	9,962円49銭

(注) 当期中における追加設定元本額は573,355円、同解約元本額は33,963,133円です。

Dコース

項目	償還時
	2020年9月15日
純資産総額	14,659,319円
受益権総口数	12,501,103口
1万口当たり償還価額	11,726円42銭

(注) 当期中における追加設定元本額は217,794円、同解約元本額は9,770円です。

指数に関して

■「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、株東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCIコクサイ・インデックス

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、世界の新興国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスに用いて行われる事業活動・サービスに一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJPMorgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。